

芸術の秋を
お家で満喫！

映画のプロが推す 絶対に見逃せない、名作10選

お家時間がたっぷりある今年の秋の夜長は、映画と共にごすごしてみませんか。
「何を選べばいいかわからない」という映画迷子の皆さんのために、プロ厳選の名作10本をご紹介します。
レンタルや動画配信を活用すれば気軽に鑑賞できます。

02.

「ファイト・クラブ」

高級ブランドに囲まれながらもどこか満たされないエリート会社員、ジャック。ふとしたことから肉体の痛みを通じて闘争本能に目覚め、ストレスを抱えた男達が拳で闘う「ファイト・クラブ」を設立する。しかし、次第にクラブは軍隊化。街の破壊活動を推し進めるように。

1999年アメリカ



recommend

「押しつけられた価値観で自分を表現する社会をぶち壊せ」というメッセージは、SNS全盛の現代においても胸に深く刺さります。100年後も古典として残る傑作。



the Usual Suspects

一瞬も目が離せない
どんでん返しが
すごい映画

01.

「ユージュアル・サスペクツ」

ニューヨークの警察署に集められたことを機に知り合った5人の前科者たち。共謀して宝石強盗を企てるが、奪ったケースに麻薬が入っていたことから急転する犯罪計画の顛末はいかに。組織のボスとされる伝説的ギャング「カイザー・ソゼ」とは一体何者なのか。

1995年アメリカ



recommend

「どんでん返ししかない」と言っても過言ではない刑事ものサスペンス映画。特に最後5分は、息をのむ展開と俳優陣の素晴らしい演技に誰もが引き込まれます。

04. 「僕らのミライへ逆回転」

VHSビデオしか置いていない寂れたレンタルビデオ店。店番を任されたマイクの元を、発電所を襲撃して感電した幼なじみが訪れたことで店中のビデオが映らなくなってしまう。2人は店の信頼を失わないよう自作自演で名作や旧作映画のリメイクをつくりはじめる。

2008年アメリカ



recommend

奇想天外なコメディですが、登場人物が皆やさしくて温かい気持ちになれます。失われていく古き良きものへの哀愁やオマージュ、そして映画への愛を感じる作品です。

05. 「スクール・オブ・ロック」

ミュージシャン、デューイは、ロックを愛する熱い男。しかし、いつまでたっても大人になりきれず、代用教師として小学校へ潜り込む。そこで子ども達にロックを教えるうち、彼らの音楽的才能を発見。授業と称して夢だったバンド・バトルへの出場を企てる。

2003年アメリカ



recommend

人々に喜びを与えるという音楽の本質的な素晴らしさを教えてくれます。感動、喜びなどさまざまな思いがあふれ、最後は誰もが前向きな気持ちになれます。



心のデトックス
泣ける映画



03.

「ラブ・アクチュアリー」

舞台は、クリスマスを間近に控えたロンドン。秘書への思いに苦悩する英国首相、再起を図るロック歌手など19人の男女が織りなす、親子、夫婦、友情といったさまざまな愛のかたちを描く。彼らは一体どんなクリスマスを迎えるのだろうか。

2003年イギリス / アメリカ



recommend

私たちの身近にもある多様な愛の形を追った群像劇。各エピソードが少しずつクロスオーバーしながら展開し、最後は何とも言えないやさしい気持ちに包まれます。

07.

「ベティ・ブルー」

フランスの田舎にあるコテージで働くゾルクは、ある日子猫のように無邪気で自由奔放なベティと出会い、激しく惹かれ合います。一緒に暮らし始めた2人でしたが、彼を深く愛するほどにベティは次第に自分を失い、破滅への道を突き進むことに。

1986年フランス

recommend

激しい愛が結末を迎えたラストシーンに流れる、さめない夢のようなメロディ。物語のおもしろさはもちろんですが、映画を支える音楽の素晴らしさも感じられる一本です。

物語を盛り上げる

音楽が印象的な映画

06.

「はじまりのうた」

恋人に裏切られたシンガーソングライターのグレッタは、失意の中ライブハウスで歌っていた。人生に行き詰まった音楽プロデューサー、ダンは偶然耳にした彼女の歌で音楽への情熱を取り戻し、仲間を集めてCDをつくり始める。

2013年アメリカ

recommend

音を重ねる豊かさや世界が音に満ちていることを体感できる物語。聞く、つくるといった断片的な楽しみではなく、音楽そのものの魅力を伝えたいという深い愛を感じます。



10.

「デス・プルーフ in グラインドハウス」

女性を狙い、耐死仕様(デス・プルーフ)の車で殺人を繰り返すマイク。今度のターゲットは映画業界で働く3人組。何とかマイクの魔の車から逃れた彼女たちは、やらねばならぬ終わるようなヤワな女ではなかった。

2007年アメリカ

recommend

クエンティン・タランティーノ監督がB級ホラー映画をオマージュしたエキセントリックムービー。余韻も何もないラストは痛快にして爽快。ストレス解消にもおすすめです。

気持ちを元気に

テンションが上がる映画

09.

「キック・アス」

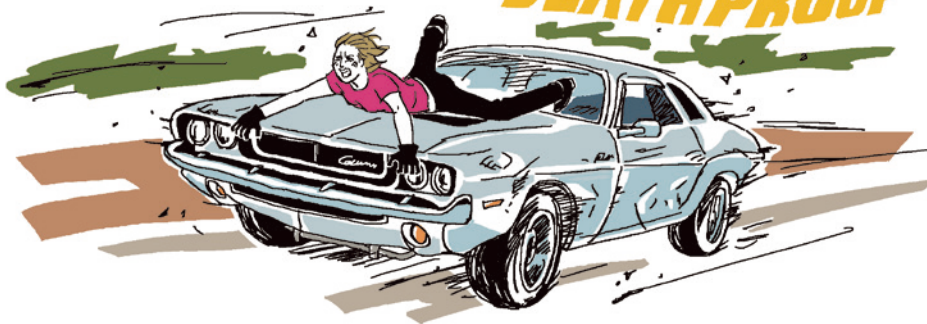
スーパーヒーローに憧れる地味な高校生が、ある事件をきっかけに「キック・アス」と名乗り正義の味方として活躍。ある時、小学生のヒット・ガール親子にピンチを救われるが、父はマフィアに殺されてしまう。2人は仇を討つため組織のアジトに乗り込む。

2010年アメリカ

recommend

まだあどけなさが残るヒット・ガールが、圧倒的な強さで次々と男たちを倒すアクションシーンがとにかくカッコいい。音楽の相乗効果もあり、何度観てもスカッと心が晴れます。

DEATH PROOF



08. 「メリーに首ったけ」

冴えない高校生テッドは、学園の人気者メリーから卒業パーティに誘われるが大失態を犯し2人の仲もそれなりに。13年後、まだメリーを忘れられないテッドは探偵を雇って彼女の近況を調べるが、探偵もメリーに一目惚れしてしまい、彼女を巡る駆け引きが始まる。

1998年アメリカ

recommend

ありとあらゆるタブーをギャグとして笑い飛ばす内容は、好き嫌いが別れるところ。しかし、ポジティブで明るい主人公たちがたくさん笑って少し泣いて、最後は温かい気持ちになる作品です。

取材協力



シネモンド

石川県金沢市香林坊2-1-1
香林坊東急スクエア.4F
<http://www.cine-monde.com>

Column

楽しみ方いろいろの今、映画館で観る意味って？

配信サービスの普及で、いつでもどこでも映画が観られるようになりました。しかし、映画館には映画館にしかない楽しみ方があります。迫力や美しさがダイレクトに伝わる大スクリーン、専用にチューニングされたスピーカーなどの設備によって、映画という創造の世界を体感できるのもその一つ。映画館に行くことは、「物語をじっくり味わう時間と環境を選ぶ」ことでもあるのです。



案内してくれた人

シネモンド 支配人

上野 克さん
Masaru Ueno

2006年より支配人としてシネモンドの運営を行い、年間約200本を上映。サメ映画が好きで、個人的ベストは「ジョーズ」。静岡県出身。